

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 福島県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	南会津病院	2
-	宮下病院	3
-	大野病院	4
-	矢吹病院	5
-	ふたば医療センター	6
いわき市	いわき市医療センター	7
田村市	たむら市民病院	8
南相馬市	南相馬市立総合病院	9
南相馬市	南相馬市立小高病院	10
猪苗代町	猪苗代町立猪苗代病院	11
泉崎村	国保泉崎村立病院	12
三春町	三春病院	13
公立藤田病院組合	公立藤田総合病院	14
公立岩瀬病院企業団	公立岩瀬病院	15
公立小野町地方総合病院 企業団	公立小野町地方総合病院	16
相馬方部衛生組合	公立相馬総合病院	17

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	
				病院名	南会津病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,382 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救へ災		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	98	49.6	62.0	50.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	49.6	62.0	50.9
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	15.3	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,914,039	
決算規模(千円)	1,263,963,809	
標準財政規模(千円)	488,228,523	
財政力指数	0.54474	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	123.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	52.1
修正医業収益(千円)	1,256,924

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,610,359			
1 経常収益	2,451,631			
(1) 医業収益	1,383,766			
入院収益	591,739			
外来収益	612,936			
診療収入計	1,204,675			
その他医業収益	179,091			
(うち他会計負担金)	126,842			
(2) 医業外収益	1,067,865			
(うち国・都道府県補助金)	83,476			
(うち他会計補助・負担金)	826,765			
(うち長期前受金戻入)	148,909			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	158,728			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,610,359			
2 経常費用	2,547,154			
(1) 医業費用	2,414,157			
職員給与費	1,331,340	96.2	55.7	72.6
材料費	273,837	19.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	133,856	9.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	139,554	10.1	11.0	5.6
減価償却費	152,332	11.0	9.0	11.1
経費	606,370	43.8	23.3	31.9
(うち委託料)	391,737	28.3	11.5	13.0
研究研修費	41,525			
資産減耗費	8,753			
(2) 医業外費用	132,997			
(うち支払利息)	130,687	9.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	63,205			
損益				
経常損益	-95,523			
純損益	-			
累積欠損金	1,282,421			
経常収支比率	96.2		97.7	97.4
医業収支比率	57.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	38.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	68.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	36.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	58.8		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,096,885
1 固定資産	26,692,840
(1) 有形固定資産	8,146,157
(2) 無形固定資産	2,790
(3) 投資その他の資産	18,543,893
2 流動資産	1,404,045
(1) 現金及び預金	624,804
(2) 未収金及び未収収益	739,048
(3) 貸倒引当金( )	917
(4) 貯蔵品	33,211
3 繰延資産	-
負債合計	17,882,830
1 固定負債	11,958,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,597,334
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,104,532
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,085,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	852,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,838,962
(1) 長期前受金	16,616,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,777,251
資本合計	10,214,055
1 資本金	4,453,281
2 剰余金	5,760,774
(1) 資本金剰余金	12,323,482
(2) 利益剰余金	-6,562,708
負債・資本合計	28,096,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	732,529	953,607
資本勘定繰入	303,543	505,156
計	1,036,072	1,458,763

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福島県
		市町村・組合名	
		病院名	宮下病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,205 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	へ
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	32	29.4	31.9	40.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	32	29.4	31.9	40.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	15.1	15.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,914,039	
決算規模(千円)	1,263,963,809	
標準財政規模(千円)	488,228,523	
財政力指数	0.54474	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	123.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	26.9
修正医業収益(千円)	202,602

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	794,251			
1 経常収益	711,677			
(1) 医業収益	235,670			
入院収益	88,654			
外来収益	96,685			
診療収入計	185,339			
その他医業収益	50,331			
(うち他会計負担金)	33,068			
(2) 医業外収益	476,007			
(うち国・都道府県補助金)	25,815			
(うち他会計補助・負担金)	404,251			
(うち長期前受金戻入)	43,645			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82,574			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	794,251			
2 経常費用	775,373			
(1) 医業費用	754,006			
職員給与費	455,428	193.2	55.7	80.8
材料費	33,909	14.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	19,087	8.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,569	6.2	11.0	4.9
減価償却費	48,221	20.5	9.0	12.9
経費	198,036	84.0	23.3	47.4
(うち委託料)	126,063	53.5	11.5	20.7
研究研修費	16,296			
資産減耗費	2,116			
(2) 医業外費用	21,367			
(うち支払利息)	20,661	8.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	18,878			
損益	経常損益	-63,696		
	純損益	-		
累積欠損金	560,383			
経常収支比率	91.8		97.7	96.7
医業収支比率	31.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	61.4		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	185.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	55.1		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	35.4		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,096,885
1 固定資産	26,692,840
(1) 有形固定資産	8,146,157
(2) 無形固定資産	2,790
(3) 投資その他の資産	18,543,893
2 流動資産	1,404,045
(1) 現金及び預金	624,804
(2) 未収金及び未収収益	739,048
(3) 貸倒引当金( )	917
(4) 貯蔵品	33,211
3 繰延資産	-
負債合計	17,882,830
1 固定負債	11,958,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,597,334
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,104,532
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,085,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	852,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,838,962
(1) 長期前受金	16,616,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,777,251
資本合計	10,214,055
1 資本金	4,453,281
2 剰余金	5,760,774
(1) 資本剰余金	12,323,482
(2) 利益剰余金	-6,562,708
負債・資本合計	28,096,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	354,031	437,319
資本勘定繰入	45,614	89,992
計	399,645	527,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	
				病院名	大野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,553 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	感 輪		
診療科数	10	看護配置	その他		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	146	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	150	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,914,039	
決算規模（千円）	1,263,963,809	
標準財政規模（千円）	488,228,523	
財政力指数	0.54474	
経常収支比率（%）	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.3
	将来負担比率（%）	123.7

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	89,048			
1 経常収益	88,639			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	88,639			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,483			
(うち長期前受金戻入)	85,156			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	409			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	98,114			
2 経常費用	98,114			
(1) 医業費用	95,339			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	94,325	-	9.0	10.2
経費	1,014	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,775			
(うち支払利息)	2,775	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-9,475			
純損益	-9,066			
累積欠損金	2,872,294			
経常収支比率	90.3		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	3.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	3.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.8		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	28,096,885
1 固定資産	26,692,840
(1) 有形固定資産	8,146,157
(2) 無形固定資産	2,790
(3) 投資その他の資産	18,543,893
2 流動資産	1,404,045
(1) 現金及び預金	624,804
(2) 未収金及び未収収益	739,048
(3) 貸倒引当金（ ）	917
(4) 貯蔵品	33,211
3 繰延資産	-
負債合計	17,882,830
1 固定負債	11,958,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,597,334
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,104,532
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,085,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	852,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,838,962
(1) 長期前受金	16,616,213
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	12,777,251
資本合計	10,214,055
1 資本金	4,453,281
2 剰余金	5,760,774
(1) 資本金剰余金	12,323,482
(2) 利益剰余金	-6,562,708
負債・資本合計	28,096,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,850	3,483
資本勘定繰入	14,780	22,170
計	16,630	25,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	219.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福島県
		市町村・組合名	
		病院名	矢吹病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,431 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	3	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	196	70.6	68.3	73.0
感染症	-	-	-	-
計	196	70.6	68.3	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,914,039	
決算規模(千円)	1,263,963,809	
標準財政規模(千円)	488,228,523	
財政力指数	0.54474	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	123.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,324,966			
1 経常収益	2,184,390			
(1) 医業収益	1,148,379			
入院収益	651,186			
外来収益	191,750			
診療収入計	842,936			
その他医業収益	305,443			
(うち他会計負担金)	262,957			
(2) 医業外収益	1,036,011			
(うち国・都道府県補助金)	72,146			
(うち他会計補助・負担金)	919,150			
(うち長期前受金戻入)	31,696			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	140,576			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,324,318			
2 経常費用	2,270,161			
(1) 医業費用	2,209,374			
職員給与費	1,655,311	144.1	55.7	98.9
材料費	111,931	9.7	24.7	8.8
(うち薬品費)	62,002	5.4	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,235	1.3	11.0	1.1
減価償却費	69,688	6.1	9.0	12.7
経費	315,498	27.5	23.3	34.6
(うち委託料)	203,158	17.7	11.5	17.1
研究研修費	56,063			
資産減耗費	883			
(2) 医業外費用	60,787			
(うち支払利息)	57,682	5.0	1.4	2.9
(3) 特別損失	54,157			
損益				
経常損益	-85,771			
純損益	648			
累積欠損金	2,222,562			
経常収支比率	96.2		97.7	98.9
医業収支比率	52.0		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	54.1		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	102.9		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	50.8		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	44.2		85.7	64.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,096,885
1 固定資産	26,692,840
(1) 有形固定資産	8,146,157
(2) 無形固定資産	2,790
(3) 投資その他の資産	18,543,893
2 流動資産	1,404,045
(1) 現金及び預金	624,804
(2) 未収金及び未収収益	739,048
(3) 貸倒引当金( )	917
(4) 貯蔵品	33,211
3 繰延資産	-
負債合計	17,882,830
1 固定負債	11,958,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,597,334
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,104,532
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,085,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	852,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,838,962
(1) 長期前受金	16,616,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,777,251
資本合計	10,214,055
1 資本金	4,453,281
2 剰余金	5,760,774
(1) 資本金剰余金	12,323,482
(2) 利益剰余金	-6,562,708
負債・資本合計	28,096,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	40.1
修正医業収益(千円)	885,422

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	677,723	1,182,107
資本勘定繰入	77,833	153,251
計	755,556	1,335,358

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福島県
		市町村・組合名	
		病院名	ふたば医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	3,860 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	14.3	13.0	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	14.3	13.0	-
平均在院日数(一般病床のみ)		7.0	8.0	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,914,039	
決算規模(千円)	1,263,963,809	
標準財政規模(千円)	488,228,523	
財政力指数	0.54474	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	123.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	15.7
修正医業収益(千円)	210,318

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,727,368			
1 経常収益	1,549,790			
(1) 医業収益	224,794			
入院収益	50,548			
外来収益	155,162			
診療収入計	205,710			
その他医業収益	19,084			
(うち他会計負担金)	14,476			
(2) 医業外収益	1,324,996			
(うち国・都道府県補助金)	874,424			
(うち他会計補助・負担金)	248,198			
(うち長期前受金戻入)	195,772			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	177,578			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,353,400			
2 経常費用	1,335,466			
(1) 医業費用	1,335,446			
職員給与費	400,180	178.0	55.7	80.8
材料費	95,343	42.4	24.7	13.8
(うち薬品費)	58,795	26.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,511	16.2	11.0	4.9
減価償却費	196,361	87.4	9.0	12.9
経費	631,649	281.0	23.3	47.4
(うち委託料)	304,143	135.3	11.5	20.7
研究研修費	11,395			
資産減耗費	518			
(2) 医業外費用	20			
(うち支払利息)	20	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	17,934			
損益				
経常損益	214,324			
純損益	373,968			
累積欠損金	-			
経常収支比率	116.0		97.7	96.7
医業収支比率	16.8		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	116.9		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	15.2		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	96.4		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,096,885
1 固定資産	26,692,840
(1) 有形固定資産	8,146,157
(2) 無形固定資産	2,790
(3) 投資その他の資産	18,543,893
2 流動資産	1,404,045
(1) 現金及び預金	624,804
(2) 未収金及び未収収益	739,048
(3) 貸倒引当金( )	917
(4) 貯蔵品	33,211
3 繰延資産	-
負債合計	17,882,830
1 固定負債	11,958,472
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,597,334
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,104,532
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	256,606
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,085,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	852,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	242,409
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	849,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,838,962
(1) 長期前受金	16,616,213
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,777,251
資本合計	10,214,055
1 資本金	4,453,281
2 剰余金	5,760,774
(1) 資本剰余金	12,323,482
(2) 利益剰余金	-6,562,708
負債・資本合計	28,096,885
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	56,143	262,674
資本勘定繰入	55,960	111,712
計	112,103	374,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	219.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	いわき市
				病院名	いわき市医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	63,451 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	28	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	679	74.9	74.5	73.8
療養	-	-	-	-
結核	15	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	1.5	-	-
計	700	72.7	72.3	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.8	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	350,237	
決算規模(千円)	156,628,108	
標準財政規模(千円)	74,986,266	
財政力指数	0.80	
経常収支比率(%)	86.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	22.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,913,422			
1 経常収益	22,904,652			
(1) 医業収益	18,886,547			
入院収益	14,098,412			
外来収益	4,038,665			
診療収入計	18,137,077			
その他医業収益	749,470			
(うち他会計負担金)	156,702			
(2) 医業外収益	4,018,105			
(うち国・都道府県補助金)	95,149			
(うち他会計補助・負担金)	2,091,856			
(うち長期前受金戻入)	1,708,368			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,770			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,874,945			
2 経常費用	23,836,207			
(1) 医業費用	22,790,011			
職員給与費	9,287,983	49.2	55.7	49.1
材料費	5,768,015	30.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,520,733	13.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,247,282	17.2	11.0	12.7
減価償却費	2,642,094	14.0	9.0	8.4
経費	2,729,502	14.5	23.3	20.7
(うち委託料)	1,659,662	8.8	11.5	11.6
研究研修費	579,185			
資産減耗費	1,783,232			
(2) 医業外費用	1,046,196			
(うち支払利息)	110,630	0.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	38,738			
損益				
経常損益	-931,555			
純損益	-961,523			
累積欠損金	8,031,376			
経常収支比率	96.1		97.7	98.8
医業収支比率	82.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	9.8		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	86.7		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,459,368
1 固定資産	49,002,392
(1) 有形固定資産	48,557,035
(2) 無形固定資産	7,224
(3) 投資その他の資産	438,133
2 流動資産	11,456,976
(1) 現金及び預金	5,933,640
(2) 未収金及び未収収益	5,297,998
(3) 貸倒引当金( )	21,923
(4) 貯蔵品	177,841
3 繰延資産	-
負債合計	54,235,652
1 固定負債	37,415,634
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,981,032
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,696,073
(7) リース債務	1,738,529
2 流動負債	4,353,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,737,365
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	615,721
(6) リース債務	134,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,720,015
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	12,466,767
(1) 長期前受金	17,603,029
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,136,262
資本合計	6,223,716
1 資本金	12,392,136
2 剰余金	-6,168,420
(1) 資本金剰余金	1,862,956
(2) 利益剰余金	-8,031,376
負債・資本合計	60,459,368
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.2
修正医業収益(千円)	18,729,845

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,247,709	2,248,558
資本勘定繰入	484,334	532,674
計	2,732,043	2,781,232

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	42.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	福島県
	市町村・組合名	田村市
	病院名	たむら市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	32	45.4	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	32	45.4	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	38,503	
決算規模(千円)	30,686,925	
標準財政規模(千円)	13,156,778	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	9.6

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,652 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	10	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	62,424			
1 経常収益	62,424			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	62,424			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	62,424			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	62,424			
2 経常費用	62,424			
(1) 医業費用	62,424			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	62,424	-	23.3	47.4
(うち委託料)	6,786	-	11.5	20.7
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	-	-		
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	-	-		
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.7
医業収支比率	-		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	64.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,912
1 固定資産	34,844
(1) 有形固定資産	34,844
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	16,068
(1) 現金及び預金	16,068
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	50,912
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	16,068
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,520
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	34,844
(1) 長期前受金	34,844
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	50,912
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	62,424	62,424
資本勘定繰入	17,422	34,844
計	79,846	97,268

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	南相馬市
				病院名	南相馬市立総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,321 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	24	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	250	74.5	70.3	69.8
療養	50	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	74.5	70.3	69.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.0	17.1

設立団体の状況		
人口(人)	57,797	
決算規模(千円)	53,885,803	
標準財政規模(千円)	18,009,327	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.7
修正医業収益(千円)	3,880,524

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,910,510			
1 経常収益	4,891,331			
(1) 医業収益	3,955,322			
入院収益	2,552,315			
外来収益	1,033,362			
診療収入計	3,585,677			
その他医業収益	369,645			
(うち他会計負担金)	74,798			
(2) 医業外収益	936,009			
(うち国・都道府県補助金)	237,234			
(うち他会計補助・負担金)	405,362			
(うち長期前受金戻入)	250,715			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	19,179			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,304,326			
2 経常費用	5,275,521			
(1) 医業費用	5,056,331			
職員給与費	2,320,383	58.7	55.7	57.0
材料費	799,246	20.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	467,717	11.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	331,529	8.4	11.0	11.3
減価償却費	456,691	11.5	9.0	9.3
経費	1,189,546	30.1	23.3	22.1
(うち委託料)	482,743	12.2	11.5	11.1
研究研修費	24,116			
資産減耗費	266,349			
(2) 医業外費用	219,190			
(うち支払利息)	52,385	1.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	28,805			
損益				
経常損益	-384,190			
純損益	-393,816			
累積欠損金	1,552,491			
経常収支比率	92.7		97.7	96.4
医業収支比率	78.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.1		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	83.6		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,419,648
1 固定資産	7,856,515
(1) 有形固定資産	7,691,040
(2) 無形固定資産	1,351
(3) 投資その他の資産	164,124
2 流動資産	2,563,133
(1) 現金及び預金	1,457,066
(2) 未収金及び未収収益	1,085,300
(3) 貸倒引当金( )	5,666
(4) 貯蔵品	21,270
3 繰延資産	-
負債合計	6,839,326
1 固定負債	2,885,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,780,783
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	104,313
(7) リース債務	-
2 流動負債	988,412
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,824
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	328,465
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,965,818
(1) 長期前受金	3,907,356
(2) 長期前受金収益化累計額( )	941,538
資本合計	3,580,322
1 資本金	3,864,510
2 剰余金	-284,188
(1) 資本剰余金	266,315
(2) 利益剰余金	-550,503
負債・資本合計	10,419,648
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	458,265	480,160
資本勘定繰入	282,057	299,957
計	740,322	780,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	南相馬市
				病院名	南相馬市立小高病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,432 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	48	-	-	-
療養	51	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	57,797	
決算規模(千円)	53,885,803	
標準財政規模(千円)	18,009,327	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,613			
1 経常収益	9,607			
(1) 医業収益	6,133			
入院収益	-			
外来収益	5,477			
診療収入計	5,477			
その他医業収益	656			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	3,474			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	15			
(うち長期前受金戻入)	3,276			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	38,957			
2 経常費用	38,957			
(1) 医業費用	38,912			
職員給与費	21,189	345.5	55.7	72.6
材料費	320	5.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	161	2.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	159	2.6	11.0	5.6
減価償却費	10,461	170.6	9.0	11.1
経費	6,863	111.9	23.3	31.9
(うち委託料)	3,539	57.7	11.5	13.0
研究研修費	39			
資産減耗費	40			
(2) 医業外費用	45			
(うち支払利息)	24	0.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-29,350			
純損益	-29,344			
累積欠損金	-			
経常収支比率	24.7		97.7	97.4
医業収支比率	15.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	0.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	0.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	0.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	24.6		85.7	74.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,419,648
1 固定資産	7,856,515
(1) 有形固定資産	7,691,040
(2) 無形固定資産	1,351
(3) 投資その他の資産	164,124
2 流動資産	2,563,133
(1) 現金及び預金	1,457,066
(2) 未収金及び未収収益	1,085,300
(3) 貸倒引当金( )	5,666
(4) 貯蔵品	21,270
3 繰延資産	-
負債合計	6,839,326
1 固定負債	2,885,096
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,780,783
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	104,313
(7) リース債務	-
2 流動負債	988,412
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	475,027
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,824
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	328,465
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,965,818
(1) 長期前受金	3,907,356
(2) 長期前受金収益化累計額( )	941,538
資本合計	3,580,322
1 資本金	3,864,510
2 剰余金	-284,188
(1) 資本金剰余金	266,315
(2) 利益剰余金	-550,503
負債・資本合計	10,419,648
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	15.8
修正医業収益(千円)	6,133

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	15	15
資本勘定繰入	500	500
計	515	515

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	猪苗代町
				病院名	猪苗代町立猪苗代病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,361 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	65	57.4	52.1	52.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	65	57.4	52.1	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		36.5	35.8	35.7

設立団体の状況		
人口(人)	15,037	
決算規模(千円)	7,891,364	
標準財政規模(千円)	5,236,319	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	54.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	83,728			
1 経常収益	83,728			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	83,728			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	44,884			
(うち長期前受金戻入)	38,604			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	83,768			
2 経常費用	83,768			
(1) 医業費用	82,948			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	34,811	-	9.0	11.1
経費	44,064	-	23.3	31.9
(うち委託料)	5,359	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	4,073	-		
(2) 医業外費用	820			
(うち支払利息)	178	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-40			
純損益	-40			
累積欠損金	307,317			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	53.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	53.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	46.4		85.7	74.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,032,553
1 固定資産	1,027,815
(1) 有形固定資産	1,011,677
(2) 無形固定資産	190
(3) 投資その他の資産	15,948
2 流動資産	4,738
(1) 現金及び預金	4,738
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	872,014
1 固定負債	20,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,008
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	17,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,524
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	713
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	834,769
(1) 長期前受金	1,222,822
(2) 長期前受金収益化累計額( )	388,053
資本合計	160,539
1 資本金	193,636
2 剰余金	-33,097
(1) 資本金剰余金	274,220
(2) 利益剰余金	-307,317
負債・資本合計	1,032,553
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	44,795	44,884
資本勘定繰入	8,262	16,524
計	53,057	61,408

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	福島県
	市町村・組合名	泉崎村
	病院名	国保泉崎村立病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,495	
決算規模(千円)	4,095,438	
標準財政規模(千円)	2,346,945	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,357			
1 経常収益	2,357			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,357			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,357			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,357			
2 経常費用	2,357			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,357			
(うち支払利息)	2,357	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	74.2

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,571	2,357
資本勘定繰入	6,589	9,884
計	8,160	12,241

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福島県
		市町村・組合名	三春町
		病院名	三春病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,060 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	86	73.8	74.1	79.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	86	73.8	74.1	79.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	18.2	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	18,304	
決算規模(千円)	9,075,808	
標準財政規模(千円)	4,805,034	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	21.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	88,845			
1 経常収益	88,845			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	88,845			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	87,455			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	125,593			
2 経常費用	125,593			
(1) 医業費用	125,229			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	89,655	-	9.0	11.1
経費	35,574	-	23.3	31.9
(うち委託料)	246	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	364			
(うち支払利息)	364	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-36,748			
純損益	-36,748			
累積欠損金	763,570			
経常収支比率	70.7		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	98.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	98.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	1.1		85.7	74.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	955,501
1 固定資産	952,917
(1) 有形固定資産	952,785
(2) 無形固定資産	132
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,584
(1) 現金及び預金	2,584
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	98,667
1 固定負債	54,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	54,859
2 流動負債	43,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	43,741
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	856,834
1 資本金	1,590,721
2 剰余金	-733,887
(1) 資本金剰余金	29,683
(2) 利益剰余金	-763,570
負債・資本合計	955,501
不良債務	41,224
実質資金不足額	41,224
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	124,202	87,455
資本勘定繰入	-	-
計	124,202	87,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	41,224	-
平成30年度	41,093	-
平成29年度	40,965	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	41,224
健全化法上の資金不足比率(%)	3.8
地財法上の資金不足額(千円)	41,224
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	公立藤田病院組合
				病院名	公立藤田総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,245 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	299	78.7	78.7	77.2
療養	-	-	-	-
結核	12	11.3	11.0	42.2
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	311	76.1	76.1	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	18.6	18.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.4
修正医業収益(千円)	5,347,669

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,056,503			
1 経常収益	6,056,503			
(1) 医業収益	5,473,215			
入院収益	3,429,978			
外来収益	1,683,913			
診療収入計	5,113,891			
その他医業収益	359,324			
(うち他会計負担金)	125,546			
(2) 医業外収益	583,288			
(うち国・都道府県補助金)	27,303			
(うち他会計補助・負担金)	472,237			
(うち長期前受金戻入)	27,112			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,168,181			
2 経常費用	6,168,181			
(1) 医業費用	5,916,258			
職員給与費	3,194,203	58.4	55.7	57.0
材料費	958,787	17.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	495,098	9.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	410,773	7.5	11.0	11.3
減価償却費	378,057	6.9	9.0	9.3
経費	1,356,806	24.8	23.3	22.1
(うち委託料)	493,809	9.0	11.5	11.1
研究研修費	12,469			
資産減耗費	15,936			
(2) 医業外費用	251,923			
(うち支払利息)	57,645	1.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-111,678			
純損益	-111,678			
累積欠損金	1,329,643			
経常収支比率	98.2		97.7	96.4
医業収支比率	92.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	88.5		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,502,516
1 固定資産	5,918,411
(1) 有形固定資産	4,955,941
(2) 無形固定資産	4,532
(3) 投資その他の資産	957,938
2 流動資産	3,584,105
(1) 現金及び預金	2,787,491
(2) 未収金及び未収収益	738,014
(3) 貸倒引当金( )	510
(4) 貯蔵品	59,110
3 繰延資産	-
負債合計	5,865,807
1 固定負債	4,463,151
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,463,151
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	894,443
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	400,524
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	210,866
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	261,903
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	508,213
(1) 長期前受金	916,764
(2) 長期前受金収益化累計額( )	408,551
資本合計	3,636,709
1 資本金	4,966,352
2 剰余金	-1,329,643
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,329,643
負債・資本合計	9,502,516
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	597,783	597,783
資本勘定繰入	234,048	59,756
計	831,831	657,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	公立岩瀬病院企業団
				病院名	公立岩瀬病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,652 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	273	74.8	79.1	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	279	73.2	77.4	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.2	13.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.6
修正医業収益(千円)	5,133,414

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,124,336			
1 経常収益	6,088,348			
(1) 医業収益	5,241,776			
入院収益	3,436,450			
外来収益	1,235,139			
診療収入計	4,671,589			
その他医業収益	570,187			
(うち他会計負担金)	108,362			
(2) 医業外収益	846,572			
(うち国・都道府県補助金)	18,774			
(うち他会計補助・負担金)	477,211			
(うち長期前受金戻入)	310,931			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	35,988			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,179,018			
2 経常費用	6,176,950			
(1) 医業費用	5,856,799			
職員給与費	3,288,815	62.7	55.7	59.8
材料費	963,104	18.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	514,666	9.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	405,066	7.7	11.0	9.2
減価償却費	453,646	8.7	9.0	9.9
経費	1,130,921	21.6	23.3	27.7
(うち委託料)	367,674	7.0	11.5	12.4
研究研修費	18,299			
資産減耗費	2,014			
(2) 医業外費用	320,151			
(うち支払利息)	70,274	1.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	2,068			
損益				
経常損益	-88,602			
純損益	-54,682			
累積欠損金	415,677			
経常収支比率	98.6		97.7	96.3
医業収支比率	89.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	89.1		85.7	83.5

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,698,114
1 固定資産	8,376,205
(1) 有形固定資産	8,374,753
(2) 無形固定資産	1,452
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,321,909
(1) 現金及び預金	523,601
(2) 未収金及び未収収益	778,090
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	20,218
3 繰延資産	-
負債合計	9,443,863
1 固定負債	6,707,710
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,849,230
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	351,309
(6) 引当金	1,507,171
(7) リース債務	-
2 流動負債	848,584
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	357,813
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	49,687
(5) 引当金	195,036
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	221,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,887,569
(1) 長期前受金	3,376,592
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,489,023
資本合計	254,251
1 資本金	645,625
2 剰余金	-391,374
(1) 資本金剰余金	24,303
(2) 利益剰余金	-415,677
負債・資本合計	9,698,114
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	577,717	585,573
資本勘定繰入	156,277	227,732
計	733,994	813,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	公立小野町地方総合病院企業団
				病院名	公立小野町地方総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,621 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	12	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	78.8	92.5	84.0
療養	59	87.0	86.8	85.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	119	82.8	89.7	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		25.4	29.5	34.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.9
修正医業収益(千円)	1,501,786

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,821,187			
1 経常収益	1,821,187			
(1) 医業収益	1,501,786			
入院収益	746,881			
外来収益	692,008			
診療収入計	1,438,889			
その他医業収益	62,897			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	319,401			
(うち国・都道府県補助金)	4,958			
(うち他会計補助・負担金)	156,612			
(うち長期前受金戻入)	123,512			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,909,303			
2 経常費用	1,907,173			
(1) 医業費用	1,812,540			
職員給与費	646,370	43.0	55.7	61.3
材料費	380,940	25.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	305,954	20.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	71,778	4.8	11.0	8.2
減価償却費	156,001	10.4	9.0	10.2
経費	625,059	41.6	23.3	30.5
(うち委託料)	165,448	11.0	11.5	13.0
研究研修費	2,723			
資産減耗費	1,447			
(2) 医業外費用	94,633			
(うち支払利息)	3,827	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	2,130			
損益				
経常損益	-85,986			
純損益	-88,116			
累積欠損金	1,525,130			
経常収支比率	95.5		97.7	96.5
医業収支比率	82.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	87.3		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,642,363
1 固定資産	2,230,318
(1) 有形固定資産	2,229,847
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	412,045
(1) 現金及び預金	130,911
(2) 未収金及び未収収益	267,095
(3) 貸倒引当金( )	194
(4) 貯蔵品	14,233
3 繰延資産	-
負債合計	2,913,200
1 固定負債	883,857
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	348,601
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	535,256
(7) リース債務	-
2 流動負債	235,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,176
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	48,755
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	160,232
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,793,824
(1) 長期前受金	2,565,958
(2) 長期前受金収益化累計額( )	772,134
資本合計	-270,837
1 資本金	1,226,373
2 剰余金	-1,497,210
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,497,210
負債・資本合計	2,642,363
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	270,837
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	154,612	156,612
資本勘定繰入	24,254	24,254
計	178,866	180,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	101.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	福島県
				市町村・組合名	相馬方部衛生組合
				病院名	公立相馬総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,604 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	20	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	198	64.4	59.8	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	64.4	59.8	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.5	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	627,213	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	2,948,838

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,164,026			
1 経常収益	3,704,026			
(1) 医業収益	3,047,324			
入院収益	1,767,419			
外来収益	1,076,036			
診療収入計	2,843,455			
その他医業収益	203,869			
(うち他会計負担金)	98,486			
(2) 医業外収益	656,702			
(うち国・都道府県補助金)	8,319			
(うち他会計補助・負担金)	303,872			
(うち長期前受金戻入)	291,772			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	460,000			
(うち他会計繰入金)	460,000			
総費用	3,988,998			
2 経常費用	3,984,409			
(1) 医業費用	3,791,711			
職員給与費	1,748,770	57.4	55.7	61.3
材料費	699,380	23.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	390,841	12.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	308,539	10.1	11.0	8.2
減価償却費	396,220	13.0	9.0	10.2
経費	939,206	30.8	23.3	30.5
(うち委託料)	367,526	12.1	11.5	13.0
研究研修費	5,976			
資産減耗費	2,159			
(2) 医業外費用	192,698			
(うち支払利息)	55,760	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	4,589			
損益				
経常損益	-280,383			
純損益	175,028			
累積欠損金	3,428,903			
経常収支比率	93.0		97.7	96.5
医業収支比率	80.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	20.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.9		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,255,238
1 固定資産	5,409,366
(1) 有形固定資産	5,399,318
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	8,760
2 流動資産	845,872
(1) 現金及び預金	332,504
(2) 未収金及び未収収益	471,585
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	41,783
3 繰延資産	-
負債合計	6,344,231
1 固定負債	3,058,827
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,175,666
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	883,161
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,510,234
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,310
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	126,404
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	650,000
(8) 未払金及び未払費用	469,520
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,775,170
(1) 長期前受金	3,539,791
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,764,621
資本合計	-88,993
1 資本金	3,195,859
2 剰余金	-3,284,852
(1) 資本剰余金	144,051
(2) 利益剰余金	-3,428,903
負債・資本合計	6,255,238
不良債務	400,052
実質資金不足額	400,052
資金不足額( )	88,993
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	401,346	862,358
資本勘定繰入	183,120	185,562
計	584,466	1,047,920

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	400,052	13.1
平成30年度	443,774	14.7
平成29年度	503,800	16.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	112.5
健全化法上の資金不足額(千円)	400,052
健全化法上の資金不足比率(%)	13.1
地財法上の資金不足額(千円)	400,052
地財法上の資金不足比率(%)	13.1

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。